



2020年10月30日

各位

会社名 中山福株式会社

代表者名 代表取締役社長

石川 宣博

(コード番号 7442 東証第一部)

問合せ先 取締役管理本部長兼グループ事業部長

兼経営企画部長

橋本 謹也

(TEL. 06-6271-5393)

2021年3月期 第2四半期累計期間の連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2020年5月19日に公表いたしました2021年3月期 第2四半期累計期間（2020年4月1日～2020年9月30日）の連結業績予想と実績値に差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2021年3月期 第2四半期累計期間の連結業績予想と実績値との差異（2020年4月1日～2020年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想（A）	百万円 21,500	百万円 △200	百万円 0	百万円 △30	円 銭 △1.53
実績値（B）	23,564	463	659	514	26.18
増減額（B－A）	2,064	663	659	544	
増減率（％）	9.8	—	—	—	
（ご参考）前期第2四半期実績 （2020年3月期第2四半期）	23,495	△74	153	60	2.99

2. 差異の理由

2020年5月19日付で発表いたしました連結業績予想は、激しい価格競争や人件費・物流コストの上昇、また新型コロナウイルス感染症の拡大による経済活動の停滞や外出自粛による消費マインドの低下を見通して公表しましたが、いわゆる「巣ごもり消費」を背景として、「インターネット通信販売事業」やプラケース・園芸用品等を扱う「プラスチック日用品製造事業」の売上が伸長したこと、緊急事態宣言が解除された6月以降は、家庭用品・日用雑貨等を扱う「家庭用品卸売事業」の売上が一時的に回復した結果、売上高は235億64百万円となりました。損益面におきましては、収益性の高い商品の販売が伸長したこと等により、営業利益4億63百万円、経常利益6億59百万円となりました。また、特別利益1億17百万円を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億14百万円となりました。

通期連結業績予想につきましては、第2四半期累計期間までの実績において前回予想を上回る進捗ですが、新型コロナウイルス感染症拡大に関する実態経済への影響が依然不透明であり、また「新たな生活様式」の浸透による個人の消費行動の変容の影響が想定されることも踏まえ、前回発表の予想値を据え置いております。

なお、連結業績に影響を与える見積もりや将来予測等を含め、通期業績予想の修正が必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

以上